

ゾレア[®]の治療を受ける
患者さんにご家族の方へ

はじめての
ゾレア[®]

気管支喘息

監 修

国際医療福祉大学 教授 山王病院 アレルギー内科

足立 満 先生

ゾレアはぜんそくの治療に用いられる
「抗IgE抗体」というお薬です。

ぜんそくの炎症の元であるアレルギー反応を抑制する
作用があります。

バルティス ファーマ 株式会社

どうしてぜんそく症状がおきるのか？

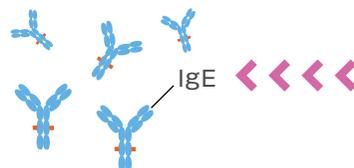
ぜんそくでは、炎症によって気道（空気の通り道）が狭くなり、さまざまな症状がおこります。
その炎症をおこす原因にアレルギー反応があります。

アレルギー反応 → 気道の炎症 → ぜんそく症状

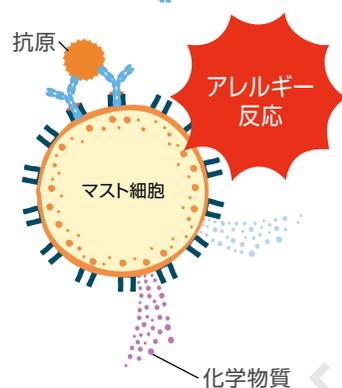
抗原が体内に侵入する



抗原と結合する性質をもつ抗体（IgE）がつくられる

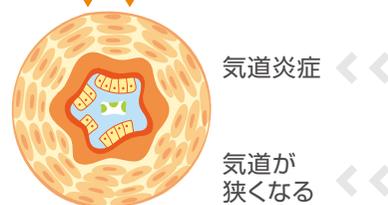


抗原と抗体（IgE）が、炎症にかかわる細胞の1つであるマスト細胞に結合する



マスト細胞から、気道に炎症をおこす化学物質（ロイコトリエン、ヒスタミンなど）が放出される（アレルギー反応）

気道に炎症がおき、気道が狭くなり、ぜんそく症状がおこる



ぜんそく症状をコントロールするには…

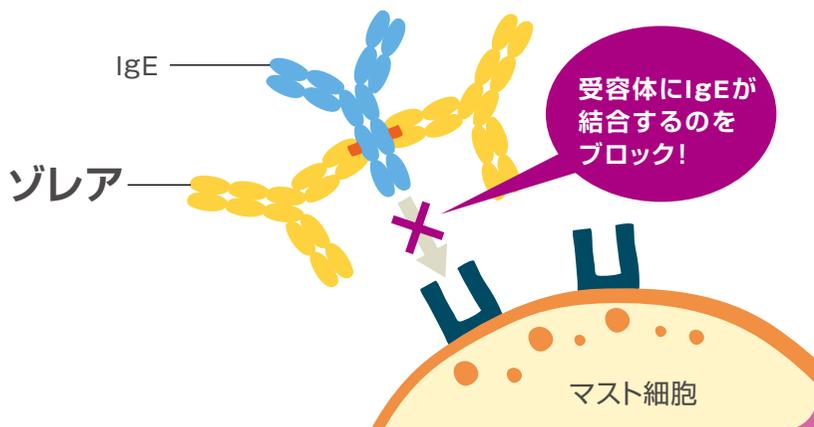
ゾレアは
炎症の原因である
アレルギー反応の元を抑えます。



症状とそのコントロール

イメージ図

ゾレアはIgEと結合して、
IgEがマスト細胞と結合できなくすることで、
アレルギー反応 = 炎症をその元から抑制します。



その他のお薬

ロイコトリエン受容体拮抗薬など
炎症をおこす化学物質のはたらきを抑えます。

抗炎症薬(ステロイド薬など)
炎症を抑えます。

長時間作用性抗コリン薬
気道が狭くなるのを防ぎます。

気管支拡張薬(β_2 刺激薬など)
狭くなった気道を広げます。

今までのお薬を使っても残っている症状をコントロールして、
健やかな日常生活をおくることを目指します。

朝までぐっすり
ねむれる

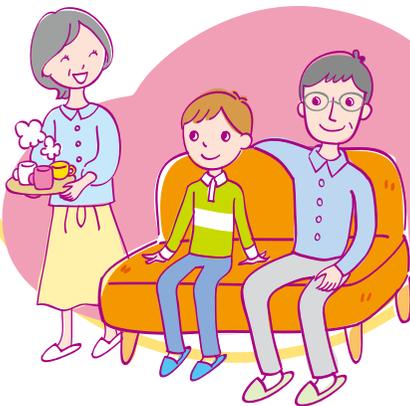


発作で急に
病院に行くことが
なくなる



毎日を健やかに

家族との
団らんを楽しめる



ショッピングを
楽しめる



友人と思いきり
食事ができる



日々を楽しむ

ゆっくり趣味の
時間をもてる



ゾレアの投与を受けるには…

ゾレアによる治療を受けるには、 以下の条件を満たしている必要があります。

そのため事前に呼吸機能や血液検査、アレルギーの検査が必要になります。

- 高用量の吸入ステロイド薬に加えて、複数のぜんそくのお薬を使っている

お薬の名前

- 症状がコントロールできない（下記のいずれか）

- ・ 毎日ぜんそく症状がある
- ・ 週1回以上、夜間症状がある
- ・ 呼吸機能が低下している

その他の症状：

- 血清中総IgE濃度が30～1,500 IU/mLの範囲にある

IgE値：

- アレルギーがある

アレルギー抗原（ハウスダスト、ダニなど）に対して陽性反応を示す

抗原：

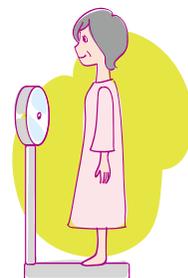
- 体重が20～150kgの範囲にある

測定値：

あなたのゾレア投与量は

_____ 週間に1回、 _____ mg です。

なお、妊娠中および授乳中の女性は、必ず主治医にご相談ください。

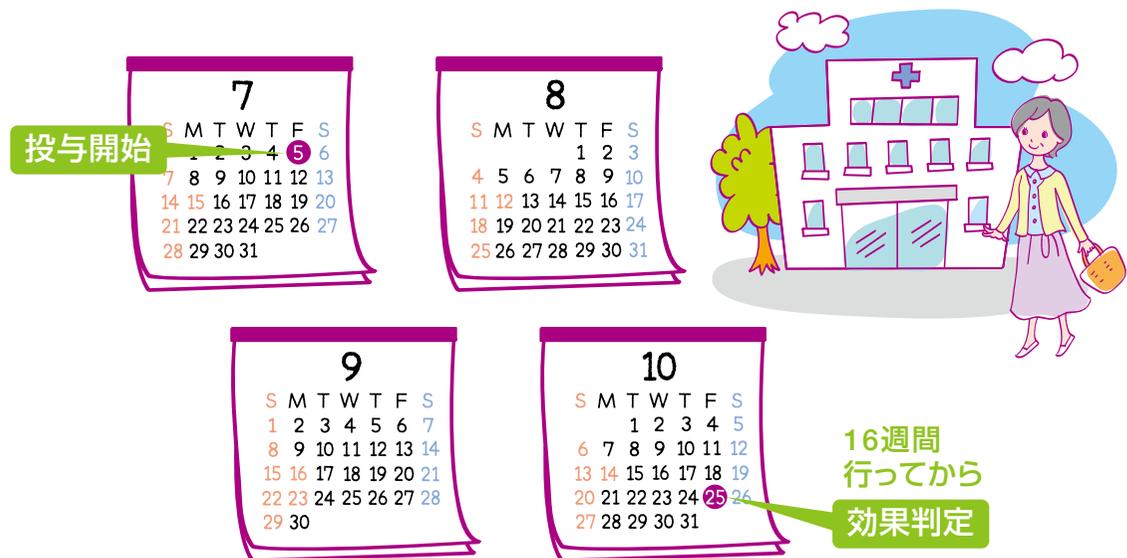


ゾレアの治療は、まず16週間行ってから効果を判断します。投与は月に1～2回、病医院にて、皮下に注射します。

ゾレアは通常、1回75mg～600mgを2週間または4週間ごとに医療機関を受診して、皮下に注射していただくお薬です。

治療は原則として16週間(4回または8回投与)行い、そこで効果があったかどうかを判定して、その後も投与を続けるかどうかを総合的に判断します。

自己判断で他の処方薬を減量または中止しないでください。



ゾレアは主治医の判断の下、患者さんご自身またはご家族が注射を行う「自己注射」の選択も可能です。

ゾレアの投与量と投与間隔は、体重と血液中のIgE抗体の量によって設定されるため、患者さんごとに異なります。



ゾレアの主な副作用と注意すべき症状

主な副作用は、
注射部位の赤みや腫れです。



赤くなる



かゆくなる



腫れる



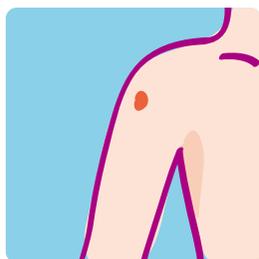
痛い



熱くなる



硬くなる



出血する

ゾレアの投与で予想される主な副作用は、注射部位の反応です。
国内の臨床試験でもっとも多くみられた副作用は、注射した場所が赤くなったり、腫れたりする症状でした。

ゾレアの投与後は、 以下の症状に注意してください。

- 気管支のけいれん
- 呼吸困難
- 血圧低下
- 失神
- たちくらみ
- 蕁麻疹
- 全身のかゆみ
- くちびる、舌、のどの奥の腫れ



呼吸困難



たちくらみ

このような症状が発現した場合、「アナフィラキシー」の可能性があり、全身にわたって生じるアレルギー反応により症状が急激に発症し、重篤な場合は生命をおびやかす危険がまれにあります。ゾレア投与後の注意に関しては、主治医や看護師の指導にしたがってください。

**思いあたる症状があらわれた場合は、
速やかに主治医や医療機関にご連絡ください。**

主治医にゾレアについて紹介を受けた患者さん、ゾレア投与中の患者さんのための
重症アレルギー性ぜんそくのウェブサイト

ゾレア[®]で
あなたに合ったぜんそくコントロールを
<https://www.okusuri.novartis.co.jp/xolair/asthma>



病医院名・連絡先：